

ネパールで里子に面会

報告者 片上 尚男

小学校4年生の女の子アスマタバッタちゃんを2010年から支援していて毎年手紙や写真をやり取りしてしていました。手紙には毎回「ネパールに会いに来て」と書いてあり、遂に今年逢いに行く決心をしました。

10月3日のピクニックの当日父親と妹の3人で来てくれ念願の面会が実現。写真で見ていたよりもはるかに成長していて可愛くなりビックリしました。仙台に留学していたテイマさんに通訳してもらいながら話しましたが初対面のせいか緊張して固まっていたのですがその瞳は喜びと嬉しさが感じ取れました。

ピクニック会場には14名の子供が参加し日本から持参したお菓子や風船、シャボン玉を渡して一緒に遊びました。食事のあと一人一人にインタビューし将来の夢や学校の様子を聞きましたが皆な生き生きとして答えてくれました。9名の子が先生で残りは医者とパイロットです。



アスマタバッタちゃん(左)と妹/写真・平間さん提供
学校の制服で来た子は2名で後の子供は最高のオシャレをして来たと思います。

これからまた3時間歩いて村まで帰るのだと思うと別れの吊橋のところで思わず胸にこみ上げて来る物が有りました。勉強して日本にも来てねと祈りつつ！

アスマタバッタちゃんにはホテルに帰ってから手紙を書き、来年中学を卒業して高校、大学まで行くのなら卒業するまで支援を続けますから頑張りなさい、私もまた進学を望んでいる旨を伝えました。

日本に帰ってから会合でネパール支援旅行の話をする、これまでに3名の協力者が名乗り出てくれ驚きました。やはり自分の体験談をすることは迫力があり説得力も有るものだと痛感した次第です。

支援者の皆様もぜひ里子に会いに行ってみて下さい。ネパールは治安の心配もなく物価は安いし楽しく思い出に残る旅でした。



全員とお別れの握手/写真・平間さん提供



JICAの阿部さん(右手前)と淡路さん(右奥)/写真・平間さん提供